

全体目標・個別目標一覧

全体目標

指 標	策定時	前 年	現 状	目 標	目標 期限	進捗状況
I 予防の強化と早期発見の推進 ・がん罹患数の減少 （全がんの年齢調整罹患率の減少）（人口10万対） ・がんによる死亡者の減少 （75歳未満年齢調整死亡率の減少）（人口10万対） （※3）	391.3 （※1） （2013（H25））	400.7 （※2） （2016（H28））	397.4 （※2） （2017（H29））	減少する	令和5 年度	前年より減少しているが、策定時と比べて増加している
	68.3 （2016（H28））	69.1 （2017（H29））	65.3 （2018（H30））	減少する		減少している
II 質の高い医療の確保 県民が安心して質の高い医療が受けられるよう、診療体制の充実及びがん医療水準の向上	—	—	—	診療体制を充実させ、がん医療水準を向上する		概ね順調であるが、より一層の施策の推進が必要
III 患者支援体制の充実	—	—	—	相談支援体制を充実させ、がんに関心する方やその家族を支える	概ね順調であるが、より一層の施策の推進が必要	

（※1）国立がん研究センター「全国がん罹患モニタリング集計 2013」
 （※2）厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告」（2016（H28）以降）
 （※3）国立がん研究センター資料より

<参考>全国値

指標	策定時	前年	現状
全がんの年齢調整罹患率 （人口10万対）	361.9 （※1） （2013（H25））	402.0 （※2） （2016（H28））	388.9 （※2） （2017（H29））
75歳未満年齢調整死亡率 （人口10万対）（※3）	76.1 （2016（H28））	73.6 （2017（H29））	71.6 （2018（H30））

1 がんにかからない生活習慣の確立

【望ましい生活習慣の確立】

指 標	策定時 (※1)	現 状	目 標	目標期限	進捗 状況
①食塩摂取量の減少 (成人1日あたりの平均摂取量)	男性 11.0g 女性 9.1g	令和3年度 調査予定	男性 8.0g 女性 7.0g	令和5 年度 (※2)	—
②野菜摂取量の増加 (成人1日あたりの平均摂取量)	280.0g	〃	350g		—
③運動習慣者の割合の増加	男性 38.1% 女性 27.6%	〃	男性 40% 女性 35%		—
④日常生活における歩数の 増加	男性(20~64歳) 7,185歩 女性(20~64歳) 6,056歩 男性(65歳~) 5,115歩 女性(65歳~) 4,599歩	〃	男性(20~64歳) 9,000歩 女性(20~64歳) 8,500歩 男性(65歳~) 7,000歩 女性(65歳~) 6,000歩		—
⑤生活習慣病のリスクを高 める量を飲酒している(※ 3)者の割合の低下	男性 16.1% 女性 2.9%	〃	男性 減少 女性 減少		—

(※1) H28「県民健康栄養調査」

(※2) 目標期限は、県健康増進計画に準じる。

(※3) 生活習慣のリスクを高める飲酒量(1日の純アルコール摂取量)は、2013(平成25)年から2022年までの第2次の「健康日本21」においては、男性40g以上、女性20g以上とされる。

【たばこ対策の充実、強化】

指 標	策定時	現 状	目 標	目標期限	進捗 状況
①成人喫煙率の減 少	男性 26.9% 女性 4.8% (※1)	更新データなし	男性 21% 女性 2%	令和5 年度 (※6)	—
②未成年者の喫煙 率 (高校3年生) (※2)	男性 — 女性 —	〃	0% 0%		—
③受動喫煙の機会 を有する者の割 合の低下(a) (※7)	行政機関 0% 医療機関 10.6% 職場 21.2% 家庭 — (※3)	行政機関 0% 医療機関 7.7% 職場 10.8% 家庭 — (※5)	0%分煙→禁煙 0%分煙→禁煙 受動喫煙のない職場 0%		健康増進法が 改正され、令和 元年7月1日か ら学校・病院・ 行政機関等は 敷地内禁煙、そ の他の施設は 令和2年4月1 日から原則屋 内禁煙となっ た
④受動喫煙の機会 を有する者の割 合の低下(b) (※8)	行政機関 7.8% 医療機関 5.2% 職場 38.2% 家庭 12.4% (※4)	更新データなし	0% 0% 受動喫煙のない職場 0%		

(※1) H28「健康づくり県民意識調査」

(※2) 「青少年健康づくり調査」

(※3) H28「医療機能調査」、H26「事業所におけるがん検診等実態調査」

(※4) H28「県民健康栄養調査」

(※5) R1「医療機能調査」、R1「事業所におけるがん検診等実態調査」

(※6) 目標期限は、県健康増進計画に準じる。

(※7) 各施設の禁煙や分煙の状況を調査した結果より算出したもの。

(※8) 県民に対して直近1ヶ月間、受動喫煙の頻度(家庭のみ毎日)を調査したもの。

【ウイルスや細菌など感染の予防】

指 標	策定時	現 状 (R1)	目 標	目 標 期限	進 捗 状 況
①肝炎ウイルス検診の受診率の増加 (症状がなく、過去に肝炎ウイルス検査を1回も受けたことがない者がもっとも早く受信できる年齢である40歳節目の受診率)(※1)	16.2% (H27)	18.8% (H30)	25%	令和5年度	増加している
②胃がん罹患者の減少 (年齢調整罹患率、人口10万対)	男性 102.4 女性 33.8 (H25)(※2)	男性 87.1 女性 29.8 (H29)(※4)	減少する		男女ともに減少している
③子宮がん罹患者の減少 (年齢調整罹患率、人口10万対)	21.8 (H25)(※2)	33.1 (H29)(※4)	減少する		増加している
④肝がん罹患者の減少 (年齢調整罹患率、人口10万対)	男性 23.6 女性 8.6 (H25)(※2)	男性 18.1 女性 6.1 (H29)(※5)	減少する		男女ともに減少している
⑤子宮がんによる死亡者の減少 (人口10万対)(※3)	8.1 (H28)	11.2	減少する		増加している
⑥肝がんによる死亡者の減少 (人口10万対)(※3)	男性 31.7 女性 15.7 (H28)	男性 25.1 女性 13.3	減少する		男女ともに減少している

(※1) 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」等より作成

(※2) 国立がん研究センターH25「全国がん罹患モニタリング集計」

(※3) 厚生労働省「人口動態統計調査」より作成

(※4) 厚生労働省H29「全国がん登録 罹患数・率 報告」

＜参考＞

指 標	富 山 県		全 国 値	
肝炎ウイルス検診受診率 (40歳節目の受診率)(※1)	18.8% H30	(18.6%) (H29)	10.9% H30	(10.7%) (H29)
胃がん年齢調整罹患率 (人口10万対)(※4)	男性 87.1 女性 29.8 H29	(男性 90.2 女性 34.9) (H28)	男性 69.4 女性 24.9 H29	(男性 73.9 女性 26.5) (H28)
子宮がん年齢調整罹患率 (人口10万対)(※4)	33.1 H29	(29.3) (H28)	33.3 H29	(33.3) (H28)
肝がん年齢調整罹患率 (人口10万対)(※4)	男性 18.1 女性 6.1 H29	(男性 17.2 女性 6.4) (H28)	男性 20.8 女性 6.8 H29	(男性 22.8 女性 7.7) (H28)
子宮がん粗死亡率 (人口10万対)(※3)	11.2 R1	(10.4) (H30)	10.7 R1	(10.7) (H30)
肝がん粗死亡率 (人口10万対)(※3)	男性 25.1 女性 13.3 R1	(男性 28.1 女性 14.1) (H30)	男性 27.8 女性 13.4 R1	(男性 28.2 女性 13.9) (H30)

※()内は前年値

2 がんの早期発見体制の強化

【検診受診率の向上】

指 標	策定時 (H27)	現 状 (R1)	目 標	目 標 期限	進捗状況
①(市町村の)がん検診受診率の向上 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」より作成	胃 12.9% 肺 33.8% 大腸 26.6% 乳 29.6% 子宮 27.5%	胃 20.1% 肺 33.4% 大腸 26.5% 乳 28.8% 子宮 27.5% (H30)	50%以上	令和5年度	胃は増加しているもののいずれも要努力
②(市町村・職域を合わせた)がん検診受診率の向上 厚生労働省「国民生活基礎調査」	胃 44.6% 肺 50.5% 大腸 41.4% 乳 40.1% 子宮 39.9% (H28)	胃 44.5% 肺 52.5% 大腸 43.0% 乳 39.4% 子宮 38.8%			肺は目標を達成している 胃、大腸、乳、子宮は要努力

【効果的健診手法等の普及】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R1)	目 標	目 標 期限	進捗状況
①乳がん検診に加えて自己触診の重要性も合わせた普及啓発 ・働く世代(40～64歳)の乳がん死亡率の減少(※1) (人口10万対)(※2)	25.9	21.2	減少する	令和5年度	減少している (R1全国値 23.8)

(※1) 本県の働く世代(40～64歳)の女性の乳がん死亡率(平成28年)が全国値(24.3(人口10万対))を上回っている等の状況により、特に注意が必要であるという観点から指標として設定したもの

(※2) 厚生労働省「人口動態統計」、県「富山県の人口」より作成

【検診精度の向上】

指 標	策定時 (H26)	現 状 (H29)	目 標	目 標 期限	進捗状況
①がん検診精検受診率の向上 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」	胃 88.6% 肺 89.6% 大腸 75.7% 乳 92.2% 子宮 81.1%	胃 93.0% 肺 87.5% 大腸 77.4% 乳 93.7% 子宮 80.5%	90%以上	令和5年度	胃、乳は目標を達成している 肺、大腸、子宮は要努力
②科学的根拠に基づく精度の高いがん検診を行うための精度管理・事業評価の実施 (国指針に基づくがん検診実施市町村数) (※1) (事業評価実施市町村数) (※2)	15市町村 15市町村	15市町村 15市町村	全ての市町村		既に達成

(※1) 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(※2) 県健康課調べ

3 質の高い医療が受けられる体制の充実

【富山県のがん診療体制の強化】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進捗状況
① 拠点病院を核とした専門的・機能的ながん医療体制ネットワークの充実・強化 ・拠点病院におけるがん情報の収集・発信、医療従事者等を対象とする研修会の開催 ※県健康課調べ ・5大がんの地域連携クリティカルパスの運用件数の増加 ※県健康課調べ	10 病院 年 1 回 以上	10 病院 年 1 回 以上	全ての拠点 病院で年 1 回以上	令和 5 年度	既に達成
	200 件	162 件	500 件		減少している

【手術療法、放射線療法、薬物療法、手術療法のさらなる充実とチーム医療の推進】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進捗状況
① 拠点病院における多職種チーム医療体制の整備 ・がん医療関連チーム数の増加 ※県健康課調べ	57 チーム	60 チーム	100 チーム	令和 5 年度	増加している

【がん医療を担う専門的な医療従事者の育成及び資質の向上】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進捗状況
① チーム医療推進のための研修会の開催 ・研修会開催拠点病院数 ※県健康課調べ	6 拠点病院	10 拠点病院	全ての拠点 病院	令和 5 年度	既に達成
② がん看護に携わる看護師の育成・確保 ・がん看護臨床実践研修の修了者数の増加 ※県医務課調べ ・がん分野の認定看護師数の増加 ※県医務課調べ	158 名 (H29. 8)	193 名	340 名		増加している
	90 名 (H29. 8)	91 名	増加する		増加している
③ がん医療に専門的に携わる医療従事者の研修会参加の促進 (地域の医師等も含めた放射線・薬物療法の推進に関する研修会の開催) ※県健康課調べ	10 拠点病院	10 拠点病院	全ての拠点 病院		既に達成

【がんゲノム医療・免疫療法を含めた最新の医療技術への対応】

指 標	策定時 (H29)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進 捗 状 況
① 「がんゲノム医療中核拠点病院」と本県のがん拠点病院との連携構築	—	—	構築する	令和 5 年度	ゲノム医療が提供できる体制の整備が図られている (富山大学附属病院 がんゲノム医療拠点病院) (県立中央病院 がんゲノム医療連携病院)

【がんと診断された時からの緩和ケアの推進】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進捗状況
①がん診療に携わる全ての医療従事者における緩和ケアに関する知識と技術の習得（緩和ケア研修会の受講）※県健康課調べ ・医師受講数の増加 ・コメディカル受講者数の増加	1,275名 897名	1,682名 1,218名	1,750名 1,500名	令和5 年度	増加している
②緩和ケアの提供体制の充実と県民等への普及啓発 ※県健康課調べ ・緩和ケア外来利用患者数の増加	2,986人	4,496人 (H30)	4,200人		既に達成
③在宅緩和ケア地域連携クリティカルパスの効果的な運用（※1） ※健康課調べ ・パス利用者数の増加	36人	72人	増加する		増加している

（※1）在宅緩和ケア地域連携クリティカルパスとは：退院後も在宅で質の高い医療が受けられるよう、拠点病院と診療所等が、患者の病態等の情報を共有するパスをいいます。

4 がん患者の支援体制の充実

【患者及びその家族の相談支援の充実】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進捗状況
①拠点病院における患者とその家族に必要な正しい情報を提供する体制の整備 ※県健康課調べ ・患者用図書室のある拠点病院数の増加	7 拠点 病院	8 拠点 病院	全ての拠 点病院	令和5 年度	増加している
②患者とその家族の悩みや不安にきめ細かく対応するための、より活用しやすい相談支援体制の充実 ※県健康課調べ ・県総合相談支援センター・拠点病院の相談支援センターにおける相談件数の増加	4,530件 (H27)	6,351件	増加する		増加している
③拠点病院における診療実績等の情報の公表（拠点病院数） ※県健康課調べ	10 拠点 病院	10 拠点 病院	全ての 拠点病院		既に達成

【在宅療養支援体制・地域緩和ケアの充実】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進捗状況
①がん患者が住み慣れた家庭や地域での療養や生活を選択できるよう関係機関の連携強化 ※県健康課調べ ・退院時カンファレンス実施数の増加	310件	796件	増加する	令和5 年度	増加している
②診療所、訪問看護ステーション、薬局、居宅介護支援事業所等の連携による在宅療養・緩和ケア体制の充実 ※県高齢福祉課調べ ・在宅医療を担う開業医グループへの参加医師数の増加 ・訪問看護ステーション数の増加 (人口10万対)	203人 5.8施設	207人 7.6施設 (R2.4)	増加する 6.7施設 7.4施設	令和5 年度 令和2 年度 令和5 年度	増加している 既に達成

③医療用麻薬が医療機関と訪問看護ステーション等の連携により使用される体制の充実 ※県医務課調べ ・麻薬処方診療所等の数の増加 (人口10万対)	46施設 (H26)	60施設	増加する	令和5年度	増加している
---	---------------	------	------	-------	--------

【がん患者の活動支援】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進捗状況
①がん患者の不安や悩みを軽減し支援するためのピア・サポーターの養成及びピア・サポート活動等の推進 ※県健康課調べ ・ピア・サポーター数の増加 ・ピア・サポーターによる患者サロン等の開催回数の増加				令和5年度	
	71名	90名	155名		増加している
	38回	42回	増加する		増加している

【がんの教育・普及啓発】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進捗状況
①ボランティア団体等の協力によるがんを含む健康に関する正しい知識の普及啓発の推進 ※県健康課調べ ・がん予防推進員数の増加 ・がん対策推進員数の維持	519名	555名	700名	令和5年度	増加している 減少している
	5,401名	5,235名	維持する		

5 働く世代やライフステージに応じたがん対策の充実

【がん患者の就労を含めた社会的な問題への対応】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進捗状況
①がんになっても安心して働き暮らせる社会を構築するため、関係機関や関係団体等と協力したがん患者の仕事と治療の両立の支援 ※県健康課調べ ・県がん総合相談支援センター・拠点病院の相談支援センターでの相談件数の増加 ・相談支援センターとハローワーク等との連携体制の強化 (拠点病院へのハローワーク専門相談員の派遣)	55件 (H27)	133件	増加する	令和5年度	増加している 増加している
	2拠点 病院	5拠点 病院	全ての拠 点病院		

【小児・AYA世代のがん対策】

指 標	策定時 (H29)	現状 (R1)	目標	目標 期限	進捗状況
①小児がん患者とその家族が安心して適切な医療や支援を受けられるよう国指定の小児がん拠点病院と県内の小児がん協力病院や地域の医療機関等との連携	東海・北陸ブロック地域連携ネットワークの構築 (H25)	連携 継続	連携 継続	令和5年度	富山大学附属病院が小児がん連携病院となっている

②県がん総合相談支援センターと関係機関との連携等による、AYA世代の多様なニーズに応じた相談支援の充実	—	—	充実する	小児・AYA世代のがん講演会や交流サロンを開催するなど充実を図っている
---	---	---	------	-------------------------------------

【高齢者のがん対策】

指 標	策定時 (H29)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進捗状況
①拠点病院における「高齢のがん患者の意思決定の支援に関する診療ガイドライン」の活用	—	—	全ての拠点病院	令和5年度	— (国で検討中)

6 調査、研究の推進

【臨床研究の推進】

指 標	策定時 (H29)	現 状 (R1)	目 標	目標 期限	進捗状況
①高度先端医療、臨床研究及び治験の実施体制の充実	—	—	充実する	令和5年度	全ての拠点病院が調査研究に協力しており、治験も含めた臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供を行っている